

広報 ふじかわ

7月号

昭和49年7月20日発行

No. 164

町のメモ

49年6月1日現在

人口	16,035人
増減	先月より +37人
男	7,912人
女	8,123人
世帯数	3,797世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画課



張切るちびっ子

郡砂の造形大会

子どもたちに夢と創造性を、と郡子ども会世話人連合会など主催で第四回砂の造形大会は、六月十六日浦原海岸で開かれ、三町から集まった約二千五百人の子ども、父兄が会場いっぱい広がって砂の造形に取り組み、それぞれの賞を獲得しました。

当日は、三町の子ども会百九十九人が参加、前日父兄たちが整地した会場に勢ぞろい。十人ひと組の各チームが協力し合って砂をもとに流木、貝がら、石などを利用してテレビの人気物ジャンボマックス、カメなどや、田中首相の似顔絵など多種多様の作品づくりに取り組み、真剣そのもの。

周りを囲んでいた父兄から「砂を固めて」「もつと大きく」など盛んに声援がかかり、強い日差しの中それぞれの作品を完成させました。

弁当持ちで参加した親子は、砂の造形展と合わせて海の見える自然の中、日常生活のあわたたしさを忘れて一日をゆつくり楽しみました。

作品は審査の結果、当町から次の子ども会が入賞しました。

▽県教育長賞 旭町しんせつ会

(やどかり)▽富士川町長賞 吉

添Bチーム(デメキン大行進)▽

郡世話人連合会長賞 本通三、四

みどり会(ねずみの親子)

1億9000万円にのぼる

台風8号集中豪雨、当町の損害額

早期復旧に全力を

恒久対策は雨期あけに

台風八号が、日本上空に停滞していた梅雨前線を刺激。このため七月七日夕から八日の朝にかけて記録的な集中豪雨が静岡県を襲い、県下七十五市町村のうち、ほぼ全域の五十九市町村に家屋全半壊五百五十六戸をはじめ、道路、田畑に大きな被害をもたらした。被害地域の広さは昭和三十三年九月の狩野川台風以来十六年ぶりという、大水害にあいました。

当町でも、降り始めてからの雨量三百十五ミリを記録する大雨にさらされ、家屋の被害は全壊一戸、半壊二戸、床上床下浸水百八十二戸におよび、道路、橋りょう、田畑にも大きな被害をもたらした。被害損害額約一億九千万円にもほつています。

町では、災害対策本部を設置して、現況復旧作業および二次災害防止に全力を注いでいます。まだ、雨期が終わっていないため恒久的な対策は梅雨あけをまつて対処する方針です。

県知事、参議院議員選挙の投票が行なわれていた七月七日の午後一時から降り始めた雨は、九時ごろから急に強くなり幸町、本通り四丁目をはじめ、各区から水害連絡が続出。

十一時に第三次配備態勢を県から指令された町は、すぐに災害対策本部を設置して、被害状況の把握、および全消防団員に出動命令をだして現地の警戒にあたらせ。

被害の状況

【建物の被害】
全壊一戸（幸町）
半壊二戸（幸町）
床上浸水、一部家屋損傷三十二戸（おもに幸町・本通四）
床下浸水百五十戸（おもに幸町本通一、三、四・宮町）

【道路の損傷】

町道二十七カ所（平清水漆野線 木島室野線など十一路線）
農林道十八カ所（中之郷農道、大楽窪線、耕作農道など）
県道五カ所（富士川富沢線、富士宮由比線）
【その他の損傷】
河川の決壊七カ所（中河原川、吉津川など七河川）
農地の崩壊百カ所（七ヶ）
山林の崩壊二十三カ所（三十一ヶ）
山くずれ五十三カ所
水道施設十二カ所

災害対策本部は七月八日から復旧に取りかかり、全半壊、土砂流入家屋や道路決壊、水道管流失カ所に全消防団員、建設業者の重機町職員を動員して、土砂の排除、搬出、二次災害防止など災害復旧作業を七月十五日まで続けました。一方、浸水家屋にはし尿の汲取り、石灰を配布。測溝にオルソ散布消毒して衛生面でも万全を期しました。

緊急に全協を開き

災害復旧を検討

町議会は、七月十一日に緊急全員協議会を開き、台風八号がもたらした災害復旧について当局から報告を求めた後、とくに被害が大きかった幸町、本通り、宮町地区の応急、恒久的な復旧工事について話し合い、午後からは現地を踏査しました。

この結果、リ災家屋および道路田畑の復旧作業や急傾斜地の防災無計画な土地造成の防止など早急に対処、あるいは行政指導するよう。また、現行の防災体制に建設業者、区長会など民間を含めた官

民一体のきめ細かな配備体制を再検討するよう当局に求めました。

なお、復旧工事費の一部にと、議員全員で三十万円を出し合い寄付しました。

全半壊家屋など

リ災者に見舞金

町では、リ災者救護として全半壊家屋に二万円。床上浸水家屋に一万円。一部床上、土砂たい積家屋に五千円。総額三十八万円の見舞金をそれぞれにおくりました。

災害義えん金

七月七日の集中豪雨災害に対して、十九日までに次の会社、団体

- 等から義えん金が町に届けられました。（敬称略）
- 日軽蒲原工場 三〇万円
- 清水銀行本店 三〇万円
- 町議会議員一同 三〇万円
- 区長一同 一〇万円
- 中川町長外三役 五万円
- 蒲原ライオンズクラブ 三万円
- 駿河ロータリークラブ 三万円
- 町仏教会 五千元
- サンズレストランむすび六〇人分 日赤静岡支部 毛布、日用品

浸水家屋の汲取り料減額

集中豪雨により浸水した幸町、本通り四丁目などの住宅を対象に七月八日から十三日までに汲取った約七万九千立方分の清掃手数料の料金、一辺当り三円のものに二円に減額徴収することになりました

ダンプカーの

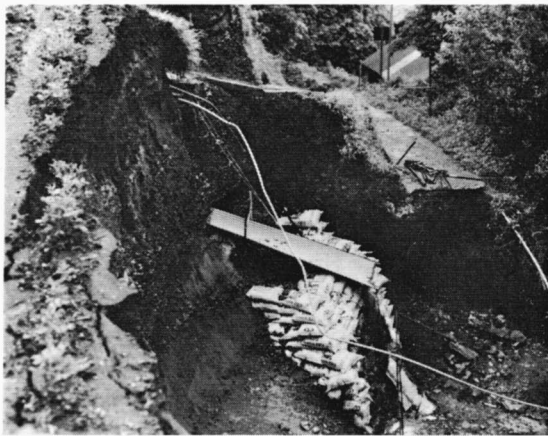
一時県道乗入許可

七月七日の集中豪雨により、富士川河川敷ダンブ専用道が約千メートル崩壊。このため蒲原警察署と町は、県道富士川富沢線（南松野馬坂一坂下間）へのダンブカーの乗入れ通行を認めました。

期間は、河川敷専用道が完全復旧する八月中旬ごろまでです。

しかし、学童の通学や通勤マイカーが集中する午前七時から八時までの一時間は通行止。夜間早朝の通行もなるべく控えるよう呼びかけています。

また、制限速度の四十キロを守り安全運転してほしいと警告しています。



幸町大楽窪線 耕作道が完全に流失した現場



急傾斜地指定力所の土砂が流入した幸町の住宅 救援にかけつけた消防団員



新町四十九赤岩付近の土砂が幸町の住宅に流入、復旧作業を行なっている町議会議員建設業者、町職員



ガケくずれ、道路決壊によって不通になった平清水漆野線

まず防災工事から

いよいよゴルフ場建設に着手

川商不動産(社長小倉晴一氏)は、北松野山間部の峰山、台山区を開発してゴルフ場等を建設する、本審査計画書を県土地利用対策委員会に提出していたところ、五月二十日付で同委員会より許可が下り、いよいよ事業着手することになりました。完成は来年十月一日が予定されています。

町では同社と道路、防災、衛生緑化や、五千万円の災害補償準備積立て金などを協定書で確約させて万全を期しています。

北松野ゴルフ場建設に着手
にゴルフ場を中核としたブル、アーチチャー、テニスコート、クラブハウスなどレジャー施設の建設を計画。

昨年五月に町土地利用対策委員会の意見書を添えて、事前審査申請書を県土地利用対策委員会に提出、同年八月に許可されました。続いて今年二月に詳細を網らした事業計画書を提出、五月二十日に本審査が認可されています。今後同社は町との協定書、あるいは県の施工条件などを尊重して、道路の防災工事などから本工事へと取り組み、来年十月に全工事を完成するよう予定しています。

同開発計画地は、北松野峰山台山区の標高二百から三百五十坪までの杉、松が植林されている比較的平坦地で、東向きのゆるやかな斜面です。日照がよく、北東に富士山、朝霧高原、富士宮市街東にかけて愛鷹山、沼津、駿河湾の一部が遠望でき、眼下には、清流富士川と松野地区の住宅街を望むことができる風光明媚なところ

これに目をつけた同社は、昭和四十七年末ごろから買収にのりだし、同地区の約百六十五万平方坪

県は、この事業計画を許可するに際し、本工事は防災工事が完了してから着手する。立木の伐採は最少限にとどめる、文化財の保護造成によって生じた裸地には植樹して緑化するなどの条件をだしています。

町では、工事に対する協定を六月二十日、後場議員控室で同社と結びました。協定書の概要は次のとおりです。

協定書の概要

はたご池周辺は二万三千平方坪の公園として自然林のまま残す。セミナーハウスやプールなどの施設は、一般人も使用できるように考慮する。

町道松野内房線を供用する部分と県道富士川富沢線の取合いについては、町や県と協議のうえ改良拡幅する。峰山林道は全面二車線で幅員七坪とする

はたご池から泉水に連絡する林道は、通称(おくり神)から泉水に連絡する計画に変更し、町と協議して施工する。開発地域内にある道路敷(赤道)は潰廃されるので、周囲山林所有者が山林の管理をするに支障のないよう同社地内の周辺に管理道路をつくり交換する。

飲料水は町の上水道から給水を受ける。撒水、雑用水として表流水を使用する場合は、水利権者の承諾を得る。

町の上水道水源の上流や山田川、あるいは林道の側溝に汚水を流さない、汚水(し尿浄化水)は、完全な処理をして直接富士川に放流し、有無瀬川や山田川に放流しない。



協定書の調印をかわす中川町長

消費生活ダイヤル

静岡55-0699

県消費生活課では、一般消費者にテレホンサービス(電話の自動応答設備による情報提供)による消費情報の提供を行なっています。

主要生活物資の価格動向、青果物の出まわり状況、一般的な暮しの知恵、消費者の相談事例の紹介、商品の品質や表示についてなど消費情報がいつでも電話一本で聞くことができます。

TEL 054255-0999

空手愛好者

募集!

空手で身体を鍛えよう!とただいま空手教室(望月光一代表)は、愛好者を募集しています。

練習日は、町立体育館で毎週水、土曜日の午後七時から午後九時まで行ないます。

年齢性別は問いませんが、初歩から指導していただきますので入会希望者は次のところへご連絡ください。なお、練習日に直接体育館へ来てくださっても結構です。

連絡先 TEL 85-2933
81-1014

静岡県知事に 山本敬三郎氏当選

静岡県知事選挙、参議院議員通常選挙は七月七日に行なわれ、この結果、新知事に山本敬三郎氏が当選しました。当町の投票率は八六・九六割です。また、参議院議員通常選挙の投票率は八五・七割で、前回より九・三割も上回っています。開票の結果は次のとおりです。(全国区は得票数五十票以上)

(敬称略)

◎候補者別得票数(県知事)

永原みのる 無所属 六〇五七票
山本敬三郎 自民党 二九〇五票
元場鉄太郎 共産党 四〇〇票

候補者別得票数(地方区)	得票数	所属
戸塚 進也	二六二九票	自民党
青木しんじ	二七二八票	社会党
斉藤 寿夫	二〇三一票	自民党
のる信次郎	七四〇票	民社党
広岡いくお	六〇四票	公明党
山田 洋	四八六票	共産党
小田 俊与	九四票	無所属
◎候補者別得票数(全国区)		
神田 博	一九二五票	自民党
たぶち哲也	九七三票	民社党
太田あつお	七六七票	公明党
長谷川 仁	五二七票	自民党
近藤 忠孝	三九六票	共産党
あんのう勝	三一九票	社会党
青島 幸男	二六四票	無所属
宮田 輝	二五九票	自民党
小林 国司	二二四票	〃
斉藤栄三郎	二〇〇票	〃
江藤 智	一六五票	〃
和田 春生	一五一票	民社党
市川 房枝	一四七票	無所属
あくね 登	一三六票	社会党
長田 裕二	一一八票	自民党
山口 淑子	一一一票	〃
鳩山威一郎	一一一票	〃
かすや昭美	一一一票	社会党
高橋こうじ	一一一票	無所属
丸茂 重貞	一一一票	自民党
山東 昭子	一〇八票	〃
田中 忠雄	九六票	〃
大谷藤之助	七八票	〃
糸山英太郎	七二票	〃
加藤シヅエ	七〇票	社会党

一般会計に

三五二〇万円補正

六月定例会

町議会六月定例会は、六月二十一日役場議場で開かれました。当日は、中川町長の一般行政報告。第二幼、小、中学校の増設など教育行政について二件の一般質問の答弁を皮切りに請願・陳情五件をそれぞれの常任委員会に託した後、四十九年度一般会計補正予算案など八件の議案を慎重に審議、原案どおり可決し同日閉会しました。

なお、閉会後全員協議会を開き二中改築問題など教育施設全般について意見交換がなされました。可決された町長提出議案は次のとおりです。

■四十九年度一般会計補正予算として歳入歳出にそれぞれ三千五百二十万円を追加、これで総額八億九千六百万円になりました。

補正予算のうちおもなものは、老人福祉センター管理費など社会福祉費に百六十四万円。農免農道洪水時の場合を考慮した調整池、堰堤は各所に適した構造のものを。山田川の改修は、集中豪雨を考慮した排水断面で施工する。

燃えるゴミは、用地内に焼却炉を設けて処理し、残灰は埋立てる燃えないゴミは破砕機やプレスを用いて、用地内で埋立て処理する。台山城址の土塁、曲輪(くるわ)は現状のまま保存する。その他の文化財についても町と協議のうえ対処する。

工事着手する前日に五千万円の災害補償供託金を町に納付する。万一造成工事が起因で発生した災害については、復旧にこの供託金をあてる。

会社の本店は町内に設立する。

今月の納税

所得税 第一期分
固定資産税 第二期分
都市計画税 第二期分
国民健康保険税 第二期分
七月三十一日までに各銀行や農協(所得税は郵便局でも可)に期限前までに納税しましょう

野犬一掃運動

七月一日から三十一日までの一カ月間、野犬一掃運動が全国的に展開されています。この運動は犬による人畜の被害を防止させるために行なわれるもので次のことを守ってください。

野犬のものになる捨て犬はやめましょう。飼犬には登録と予防注射を受けましょう。犬の放し飼いはやめましょう。

社会を明るくする運動

7月15日～8月15日

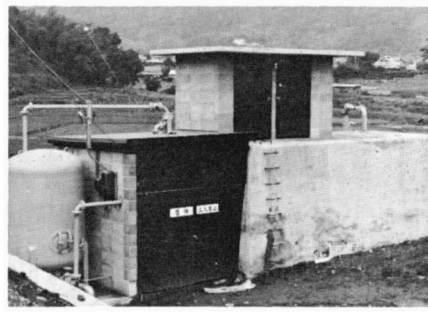
犯罪や非行のない
明るい町をつくるため
あなたも協力して下さい。

松野地区に現在の 2倍の飲料水確保

上水道に大きく前進

北松野清水町地内に中野浄水場が三月一日に完成。これにより、現在の二倍の飲料水の配水が可能となり、日軽中野団地などの住宅で増え続ける給水人口に対処できることになりました。また、同地区は簡易水道から上水道（給水人口五千人以上）に大きく前進しています。

この浄水場は、松野簡易水道では初めての地下水利用の配水場で敷地、深井戸、取付け道路は日軽金網が寄付。取水、配水装置は、町の水道事業会計から五百万円を投じてきたものです。



完成した北松野中野浄水場

ットで日量千五百リ（同地区の一日使用水量は現在約千二百リ）の水を給配水する全自動方式。さらに北松野配水地の貯水タンク（既設のもの百リ）を五百リに増設する工事が九月までに完了します。同地区は、現在の給水人口約四千人。昭和五十年十月までに完成する二百七十戸（約千人）の日軽中野団地や、計画されている中野区画整理事業による大幅な人口増、あるいは自然増が予想されていて、昭和五十五年には約七千人になるものと推定されます。

しかし、同配水地の完成により現在の一人当りの給水量で計算すると、約九千人分の飲料水がまかなえることとなります。同配水場は三月一日に完成されていて、その機能をすでに発揮しています。

町の表彰者を集録した 功労者顕彰録を発刊

町政や町の発展に尽くした人々の記録を残し、その教訓を学びとろう——と町は、町表彰条件に基づき表彰者を一堂に集録した「富士川町功労者顕彰録」をこのほど発刊しました。

夏休みの事故防止に 交通安全運動はじまる

夏の交通事故死をなくすV5県民運動は、七月二十日から八月三十一日まで県下いっせいに行動されます。

ことしの運動は「歩行者の安全確保、とくに子どもと老人の事故防止」「暴走運転の防止、とくに飲酒運転の絶滅」の二点を目標にしています。

町では蒲原警察署、交通安全協会の協力を得て、幼保育園児の交通教室や街頭指導、夜間パトロール。また、七月二十八日、八月十一、二十五日の日曜日の三日間を家庭交通安全デーに定め、家族で交通安全について話し合うよう指

存者の功績を一冊にまとめたもので、B五版二百六十七ページ。昭和三年の御大礼記念表彰から昨年の学制発布百年記念表彰までの、過去十回の表彰者二百六十九人が集録されていて、年代別に当時の様子が理解できる、いわば「町史の縮図」

「富士川町にもコーラス部を」と昭和四十五年、根上純子さんと相生町）の提案で婦人会の中にコーラス部として発足。その後教育委員会の行なう社会教育の一環として活動し、昨年四月から文化協会コーラス部（根上純子部長）として登録。文化祭を始め、テレビ静岡朝の番組ワイドイン静岡にも過去二回出演するなど、キャリアは豊富で、その美しいのどを披露しています。

コーラス部 文化協会所属

今年上半期（一月〜六月）に発生した交通事故の死者は、全国で五千三百八十二人と、昨年同期より千七百二十九人（二十四・三％）も減少。毎年、自動車の保有台数が増加しているにもかかわらず死者が減少した原因を、警視庁では石油危機の影響、交通安全施設の拡充、交通取締り強化の三つをあげています。

当町内をみると、同期で死者三人となっていて、昨年同期より二人減少しています。

生徒の進路問題など 2中父兄同志で座談会

生徒の進路や精神的な問題。あるいは家庭教育のあり方を自主的に父兄で話し合い、よりよい社会人に育てたい、と第二中学校PTA（宇佐美茂雄会長）は、六月二十七日の父兄参観会のと座談会を開きました。

この試みは、今年始めて同校のPTA活動として実施するもの。まず、親自身が勉強し教養を身につけることによって、我が子や先生とよい子に育てる方法。あるいは生徒の将来について話し合うことが最善の策と考へ、父兄参観会の終ったあとを利用。希望により三つの分科会に別れ、それぞれ

のテーマについて父兄同志で意見交換する座談会方式です。当日は父兄約百二十人が出席。第一分科会は、近頃の生徒は根性がないなどと言われているが、精神面の欠陥に対して学校や家庭がどのように対処していくべきか。第二分科会では、生徒の進路問題を親としてどのように考えたらいいか。第三分科会は育ち盛りの生徒に対する親の受け止め方、などをテーマに研究する方向で進められました。

「何のために高校へ進学するのか」
「家の子は学校から帰ってきても

「注意するとすぐ反抗的な態度をとる」など色々な意見や、オプザーバーの先生に質問する場面もあり、有意義な話し合いでした。同PTAでは、今後も映画を利用した視聴覚による勉強もまじえ、参観会の日を利用した座談会



通信員たより

対岸の富士市、富士川左岸河川敷にヘドロ処理後地を活用しりっぱなグラウンドが造られました。富士川右岸にあたる当町の河川敷内にも早く運動公園を造ってほしいと思います。現在、町体育協会をはじめ、各種団体が主催する町民ソフトボール大会、子ども会球技大会など各種スポーツが盛んに行なわれ、町民の体育

一中へ碁盤を寄贈 文協囲碁クラブ

文協囲碁クラブ（戸沢美之作部長）は、六月二十八日に第一中学校へ碁盤など五組を寄贈、生徒から喜ばれています。同校は、今年四月からクラブ活動の中へ囲碁クラブを新設。宮田先生を担任に十五人の生徒で形成しています。

文協囲碁クラブでは「若い碁打ちを育てる。また、生徒の頭の体操に格好な競技として囲碁を推奨しよう」と、クラブ費のうちから碁石、碁盤など五組を購入、同中学校へ寄贈したものです。

「明るい選挙」のピラ配りする夜の道車窓かやき列車すぎゆく

富士川短歌会

六月詠草 天野 寛選
小池 佐藤 ちよ
栗の花咲ける峽の風の宿いかずちとどろく夕立に逢う
四十九 塩川 恒子
草刈機のエンジンとめて息づけば山間にして雉鳴きしきる
四十九 八月 弘子
サッカーの試合に一日過ぎしたる子の胸元はV字にやけたり
上町 植松 法子
袖口に砥の粉つきたる仕事着の壁にかかりて父は逝きたり
四十九 辻 すみじ
たちばなの香り漂ふ空晴れてこの山里に公害もなく
宮町 池田 てい
恋歌を友のうたえば吾もまた秘めつつすぎた恋を想えり
本通一 望月 録
街出でて今日の一日を山峽の栗の花咲く湯宿に憩ふ
本通一 斉藤とし子
潮風の吹き通す坂より着き海に行き交う舟を眺めつつ立つ
四十九 村山 越子
蛇おると友驚きてとびすぎる板橋渡りて川べりを行く
旭町 吉原 令子
「明るい選挙」のピラ配りする夜の道車窓かやき列車すぎゆく

戸籍の窓

49・5・20～6・19 (敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄	新町	東町一	小峯	明美	正己	上町	深瀬	正	文子	高橋	木島	佐藤	美晴	清水市									
木島	芦川	美香	厚司	長女	四十九	加藤	賢司	昭雄	二男	東町二	芦川	歴	邦彦	長男	坂下	大泉	善一	礼子	岡村	坂下	齊藤	喜久江	静岡市		
小山	齊藤	美帆	仲夫	〃	四十九	石原	純子	克郎	〃	南町	徳原	勉	平吉	二男	四十九	清水	十三昭	とも子	井上	〃	丸山	恵子	埼玉県		
相生町	谷津倉丈二	金之助	二男	〃	八幡町	丹羽	理	和己	三男	〃	足立	倍三	りつ子	望野	〃	保坂	理枝	横浜市	〃	〃	石川	くみ子	富士宮市		
〃	植松	尚美	益雄	長女	〃	大北町	小川	友博	富春	二男	幸町	長島	健二	千恵子	正村	〃	小池	中川	青子	蒲原町	〃	〃	〃	〃	
上町	若月	たかえ	浩	〃	〃	小林	厚志	和則	長男	〃	東町一	鈴木	吉明	京子	川越	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
舟山町	村野	貴顕	光顕	二男	〃	〃	今駒	稔	正雄	〃	〃	田辺	辰己	玲子	若月	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
坂下	滝	友理子	悦雄	二女	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

すべての子に生きがいを!

なかよし在級保護者として

蒲原東小学校 磯部 芳子

私の子どもは小さい時から体が弱く、そのうえ知恵おくれ、言語障害の二重の悩みを持っておりました。

やがて小学校生活にはいり、重いランドセルを背負って「行ってきます」と元氣よく出かけて行く我が子を見て心から喜んでおりました。

ところが、一カ月もたたないうちに学校からの連絡で行ってみる

と、授業中席に着いて坐っていないばかりか、外で水いたずらをする。便所へ行った帰りに廊下で遊んでいる——という状態で、私はそれからの六カ月間学校へついて行っておりません。何をすることも集団生活ができないようです、勉強もずんずん遅れていってしまいます。どうしたらよいか毎日が苦しみの連続でした。

そんなある日、校長先生、受持

よろこび

区名	氏名	転出先
清水町	久保田幸夫	由紀江内田
大北町	細川 利政	三枝子佐野
相生町	高橋 勉	明子 栗田
〃	新 郎	新婦 旧姓
〃	深瀬 正	文子 高橋
〃	望月 秀浩	須美子 三国
〃	大泉 善一	礼子 岡村
〃	宇田川富二夫	美知子 佐野
〃	清水十三昭	とも子 井上
〃	齊藤 宏一	ゆり子 渡辺
〃	足立 倍三	りつ子 望野
〃	幸町 長島	健二 千恵子 正村
〃	東町一 鈴木	吉明 京子 川越
〃	田辺 辰己	玲子 若月
〃	井出 和雄	充代 伊久美
〃	望月 晴美	富士市
〃	山田 文子	清水市

かなしみ

区名	氏名	年齢
室野	望月 明義	七四
上町	植松 福蔵	六六
南町	望月イノ子	六〇
〃	望月志津江	三二

スポーツ行事

▼商工会ソフトボール大会 7月28日 一小・二中・富士川製紙ランド
▼子ども会球技大会 8月4日 一小グラウンド
▼町民剣道大会 8月11日 町立体育館
▼町民野球大会 8月14・15日 一・二中グラウンド

この先生に東小学校の仲よし在級入級を勧められました。そして、何ともいえない複雑な気持ちで入級させました。それから今まで、学校がいやになったことは一度もありません。普通学級よりも小人数で、子どものこともよく理解してもらい、そのうえで一つ一つわかるように教えてくれるのです。仲よし学級に入れてよかったです、我が子の明るい顔を見るたびに喜んでおります。

蒲原駅から新蒲原駅まで毎日列車で通っているの、初めのうちは帰ってくるまでとても心配でした。でも、先生や職員さん、まわりの人たちの暖かい思いやりで一年が過ぎました。ほんとうにうれいことです。

外で元気に友だちと遊べなかつた子。いつも家の中でぐずぐずしていた子。良い悪いの区別がほとんどできなかつた我が子が、今はすこしずつ真直ぐにも走れるようになり、教室でも我慢ができるようになっていきました。また、言語の方も清水の浜田小学校にお世話になりがんばっています。

でも、まだまだどうしても引込思案の子になってしまいます。親子ともども社会勉強や体力作りに励んで、素直で明るい、がんばりのきく我が子にしたいと心から願っております。

(庵原郡心障児教育推進協啓発部)